

プロジェクト4 次代を担う農業人材の確保

1 目的

本県農業の次代を担う人材を確保・育成するため、県内外・農内外からの新規就農者の確保や就農定着に向けた支援を充実するとともに、女性農業者が輝く環境づくりを進めます。

2 目標・実績

指標	単位	計画時 H27	実績				目標	R2目安値 対比
			H28	H29	H30	R1	R2	
青年新規就農者数	人/年	251 (H27)	260	270	280	290	300	76%
		実績	246	261	285	244	228	
就農相談件数	件	653 (H26)	680	710	740	770	800	72%
		実績	801 (H27)	829 (H28)	817 (H29)	707 (H30)	574 (R1)	
とちぎ農業女子プロジェクト実施数 (延べ件数)	件	4 (H27)	8	12	16	20	25	120%
		実績	10	15	20	25	30	

3 5年間の主な取組と成果

(1) 農業に対する関心の醸成と新規就農者の確保

農業体験を通し、子どもたちの農業に対する理解と関心の醸成を図ります。
また、本県農業の魅力を発信するとともに、農地や施設等の経営資源情報の提供機能の強化や、研修環境の整備などによる若者等の新規就農者の確保を図ります。

▶ 情報発信の強化

- ・ 高校生向け農業フォーラムの開催、農業大学校オープンキャンパスの実施など、体験型の情報発信を強化
- ・ 中学生向け農業講座を実施し、若年層への理解を促進
- ・ 農業大学校「いちご学科」の開設に向け、県内外の高校や大学等へプロモーションを展開

▶ 就農相談体制の充実

- ・ 県内外での就農相談会を開催 (R2はオンラインで対応)
- ・ 各農業振興事務所での個別就農相談を実施

▶ 研修環境の整備

- ・ 「とちぎ農業マイスター」の設置など産地における就農希望者の受入育成体制を整備
- ・ 畜産酪農研究センターにおけるICT活用酪農技術の研究・研修のための新牛舎を整備 [農業大学校]
- ・ 令和3年度の「いちご学科」開設に向け、教育体制を整備
- ・ ドリーム牛舎、露地野菜関係機械、多目的育苗ハウス、地下水水位制御システムなどの教育環境を整備
- ・ GLOBALG.A.P.認証を取得 (品目: 梨、りんご、ぶどう、栽培面積110a)



農業大学校 ドリーム牛舎

(2)就農定着に向けた支援の充実

就農の初期投資を軽減するため、遊休経営資源の活用や、経営が安定するまでのキャリアアップを支援するとともに、雇用就農の受入体制の整備を進めます。

▶営農開始時の負担軽減

- ・酪農の新規就農者を支援する栃木県酪農担い手確保推進協議会を設置(R2)
- ・経営資源有効活用リフォーム支援事業により新規参入を支援(園芸、畜産など)

▶キャリアアップ支援

- ・新規就農者向け経営技術改善セミナー基礎講座や経営品目別セミナー開催により経営改善の取組を支援
- ・鹿沼市農業公社が実施する新規いちご栽培希望者等を対象にした研修施設の整備を支援



鹿沼市いちご収穫体験作業

▶雇用就農の促進

- ・農業法人等の指導者向け研修を開催し、雇用就農に対する意識を啓発
- ・農業法人等に対し、新規雇用就農者の教育研修等に係る費用を助成
- ・意欲ある雇用就農者を確保するための独立支援研修プログラムの作成を支援

(3)女性農業者が輝く環境づくり

本県農業の活力を高めるため、女性の知恵や感性を農業経営に生かす環境づくりを進めます。

▶女性農業者のスキルアップ

- ・グループ活動を通じて経営のスキルアップを目指す、とちぎ農業女子プロジェクトの活動を支援

▶女性農業者の活躍促進

- ・若手女性農業者等を中心に経営参画のレベルに応じた農業の知識を習得させるセミナーを開催
- ・女性農業者に対して経営者としての意識啓発を図るセミナーを開催
- ・女性農業者の活躍を紹介する冊子の県内高校、農業系大学等への配布により就農意欲を喚起



とちぎ農業女子プロジェクト

4 現状の主な課題と対応策

(1)農業に対する関心の醸成と新規就農者の確保

- ▶新規就農希望者の裾野を拡大するため、小学生～高校生などの教育段階に合わせた出前講座、農業体験等による農業・農村の理解の促進や魅力を発信するとともに、産地見学会、農業体験(インターンシップ)などを実施します。
- ▶就農形態が多様化する中、きめ細やかな就農相談による就農イメージの明確化が必要となっていることから、相談者の実情に応じた就農相談を実施します。
- ▶就農希望者向けの技術習得や経営資源取得を支援する「とちぎ農業マイスター」の設置を進めるとともに、産地が主体となって確実に就農させる受入体制の整備を促進します。
- ▶酪農のスマート関係技術の知識を習得する機会が少ないため、畜産酪農研究センターの新牛舎を活用した研修体制を整備します。

(2)就農定着に向けた支援の充実

- ▶新規就農者が農業経営を開始するに当たっては、農地や資金の確保に苦労していることが多いことから、こうした経営資源を円滑に確保できるよう、関係機関・団体が連携したマッチング体制を整備するとともに、施設の修繕に対する支援をしていきます。
- ▶いちごの生産者が減少する中、優れた栽培技術と経営管理能力を持つ農業人材の育成が重要となっていることから、農業大学校「いちご学科」において「いちご王国・栃木」をリードする経営者を育成します。
- ▶酪農の後継者確保が進んでいないことから、栃木県酪農担い手確保推進協議会による後継者育成や第三者経営継承の推進等を支援します。
- ▶雇用就農者にとって魅力ある労働条件、労働環境などを整備している農業経営体や将来のキャリアプラン等を明確化している農業法人等が少ないことから、労務管理など雇用就農者の働きやすい環境づくりに関するセミナー等を開催するとともに、自営就農に向けた独立支援プログラムの整備を支援します。

(3)女性農業者が輝く環境づくり

- ▶農業を職業のひとつとして選択する女性を増やすため、既に活躍する女性農業者の姿を、各種広報媒体を活用して積極的に情報発信します。
- ▶「とちぎ農業女子プロジェクト」等で習得した経営スキルを具体的な収益向上に結び付けるため、習得したスキルを生かした新たなアグリビジネスの創設を支援します。
- ▶経営者として活躍する女性農業者を増やすため、農業経営や地域振興において活躍できるよう、経営スキルを始め幅広い知識を身に付けるセミナー等を開催します。

事例 産地における人材確保・育成に向けたとちぎ農業マイスターの推進(河内地域)

園芸生産者の高齢化が進行する中、産地の維持拡大を図るためには、新規就農者の安定的な確保が必要となっています。

そこで、河内地域では、産地人材育成確保事業を活用し、関係機関・団体と連携しながら、県内でもいち早く、とちぎ農業マイスターの設置に取り組み、令和2年度中に11名(うち専門部9名、グリーンアスパラガス専門部2名)を認定しました。

令和3年度以降は、新たなとちぎ農業マイスターの認定に加え、就農希望者がより実践的な研修ができるようトレーニングファーム設置を推進し、新規参入者の受け皿の充実に向けた取組を継続していきます。



とちぎ農業マイスター認定証交付式



マイスターによる指導の様子